

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月5日

上場会社名 株式会社フジ・メディア・ホールディングス
 コード番号 4676 URL <http://www.fujimediahd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務局長
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

上場取引所 東

(氏名) 豊田 皓
 (氏名) 羽原 毅
 配当支払開始予定日

TEL (03) 3570-8000
 平成21年12月4日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	280,774	△0.4	2,738	△78.3	4,590	△70.2	3,023	△46.6
21年3月期第2四半期	281,975	—	12,641	—	15,412	—	5,657	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	1,312.82	—
21年3月期第2四半期	2,456.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	723,753	461,707	63.0	197,829.43
21年3月期	683,523	453,395	65.7	194,864.16

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 455,620百万円 21年3月期 448,790百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	1,800.00	—	1,800.00	3,600.00
22年3月期	—	800.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

平成22年3月期の期末配当予想額は、現時点で未定であります。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	581,000	3.1	6,600	△66.7	9,800	△56.2	5,400	△67.4	2,344.67

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 - ② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|------------|-------------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第2四半期 | 2,364,298株 | 21年3月期 | 2,364,298株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第2四半期 | 61,202株 | 21年3月期 | 61,202株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第2四半期 | 2,303,096株 | 21年3月期第2四半期 | 2,303,096株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定等については、6ページ 定性的情報・財務諸表等 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

当期の期末配当につきましては、今後の業績見通しが極めて不透明であることから、現時点では未定とさせていただきます、今後の業績推移や事業環境などを勘案した上で、決定しだい速やかに開示を行う予定です。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期のわが国の経済は、政府の月例報告によると、「景気は、失業率が過去最高水準になるなど厳しい状況にあるものの、このところ持ち直しの動きが見られる」とし、在庫調整の一巡や経済対策の効果に加え、対外経済環境の改善により、景気は持ち直しの動きが見えはじめております。しかし、天候不順や新型インフルエンザ流行のあおりを受けて個人消費は力強さを欠き、広告のセールス環境は依然として厳しい状況が続いています。

こうした中、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、連結子会社が増えて生活情報事業及び広告事業は増収となったものの、主力の放送事業をはじめ他のセグメントが減収となったことで、前年同期比0.4%減収の2,807億74百万円となりました。営業利益は、放送事業が放送収入の減収により大きく減益となったこと、生活情報事業や広告事業が営業損失となったことなどが影響して、前年同期比78.3%減益の27億38百万円となりました。また、経常利益は前年同期比70.2%減益の45億90百万円、四半期純利益も同46.6%減益の30億23百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績の状況は以下の通りであります。

	売上高			営業利益又は営業損失(△)		
	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	増減 (%)	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	増減 (%)
放送事業	187,294	173,964	△ 7.1	11,177	3,362	△ 69.9
制作事業	23,951	21,899	△ 8.6	1,284	925	△ 27.9
映像音楽事業	34,613	31,954	△ 7.7	1,369	188	△ 86.2
生活情報事業	39,485	49,256	24.7	△ 537	△ 521	—
広告事業	15,018	22,167	47.6	△ 170	△ 119	—
その他事業	16,351	14,658	△ 10.4	140	69	△ 50.2
消去又は全社	(34,740)	(33,127)	—	(621)	(1,168)	—
合計	281,975	280,774	△ 0.4	12,641	2,738	△ 78.3

(注) 平成21年3月期第3四半期連結会計期間より事業の種類別セグメントの区分を変更しておりますが、上表の前第2四半期連結累計期間の数値は期首(平成20年4月1日)より変更後のセグメントの区分によった場合の数値に組替えて、参考として表示しております。

(放送事業)

テレビ放送部門の放送収入は、厳しい広告市況を反映して、ネットタイム、ローカルタイム及びスポットすべてが2桁減収と苦戦しました。放送以外では、催物事業が「コレオ」の貢献により増収となり、映画事業も「アマルフィ」のヒットなどで増収になったことで、その他事業収入は前年同期を上回りましたが、テレビ放送部門全体は、放送収入の落ち込みの影響が大きく減収となりました。一方、費用面では、増収に伴いその他事業原価は増加したものの、放送事業原価や販管費が減少して営業費用は前年同期を下回りましたが、減収による影響を補うには至らず減益となりました。

ラジオ放送部門の売上高も、イベントや物品販売では前年同期を上回ったものの、放送収入の落ち込みをカバーできず減収となりました。費用面では、番組制作費や販管費の削減で営業費用は減少しましたが、減収による影響で減益となりました。

その結果、放送事業全体の売上高は1,739億64百万円と前年同期比7.1%の減収、営業利益は33億62百万円と同69.9%の減益となりました。

